

光市高齢者保健福祉計画及び 第6期介護保険事業計画

『住み慣れたまちで自分らしく生きる
～高齢者にやさしい「わ」のまちひかり～』の実現に向けて

平成27年3月

光 市

『住み慣れたまちで自分らしく生きる
～高齢者にやさしい「わ」のまちひかり～』の実現に向けて



現在、我が国は、人口減少・超高齢化という深刻な状況を迎えており、将来にわたって制度全般を存続させていくため、少子化対策や医療・介護、年金の分野において、すべての世代がその能力に応じて支え合う持続可能性の高い社会保障制度への転換が求められています。

こうした中、医療・介護分野における改革の一つとして、「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」により、高齢者が住み慣れた地域で、医療、介護、予防、生活支援、住まいのサービスが切れ目なく一体的に提供され、安心して暮らし続けることができる「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、より一層の取組みを推進していくこととされました。

また、本市における高齢化率（平成 26 年 10 月 1 日現在）は、31.9%と全国平均を大きく上回っており、今後も全国より早いペースで進んでいくとともに、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯、さらには認知症高齢者の増加が予想されています。

こうした状況を踏まえ、本市では、地域包括ケアの中核的な役割を担う地域包括支援センターの機能強化はもとより、医療と介護の連携や認知症施策、さらには、地域における「自助」「互助」意識の醸成によるボランティアなど市民と協働による本市に相応しい「地域包括ケアシステム」の推進に向けた取組みを盛り込んだ「光市高齢者保健福祉計画及び第 6 期介護保険事業計画」を策定しました。

私は、従来より、「対話」「調和」「人の輪」による「わ」のまちづくりを進めていくことで、「ゆたかな光市」が作り上げられるものと信じており、本計画においても、前計画に引き続いた将来像『住み慣れたまちで自分らしく生きる ～高齢者にやさしい「わ」のまちひかり～』の実現に向けて、高齢者自身もまちづくりの担い手となり、地域全体で高齢者を支えていく取組みを着実に進めてまいりますので、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

終わりに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました光市高齢者保健福祉計画等策定市民協議会の委員の皆様をはじめ、関係各位に心からお礼を申し上げます。

平成 27 年 3 月

光市長 市 川 熙

光市高齢者保健福祉計画及び 第6期介護保険事業計画

第1部 序論

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の背景	1
2 計画の目的・位置付け	2
3 期間（目標）と構成	3
4 計画策定のアプローチ	6

第2章 高齢者を取り巻く現状と課題

1 高齢者の状況	7
2 介護保険事業の状況	16

第3章 高齢者の状況に関する将来推計

1 高齢者の人口推計	24
2 要介護（要支援）認定者の将来推計	25

第2部 総論

第1章 「目指すべき社会」に向けた展望

1 「目指すべき社会」に向けて	26
2 計画の将来像	27
3 まちづくりの基本姿勢	28

第2章 基本戦略

基本戦略「幸せ実感プロジェクト」	30
戦略1 地域包括ケアプログラム	31
戦略2 認知症サポートプログラム	35
戦略3 生きがい実感プログラム	38
「目指すべき社会」実現へのアプローチ	40

第3部 各論

施策体系	41
------	----

第1章 第6期介護保険事業

介護保険制度改正の主な内容について	42
1 介護サービス見込み量設定の考え方	43
2 介護保険給付対象サービスの見込み	48
3 地域支援事業の見込み	85
4 介護保険事業費見込み及び介護保険料の算定	137
5 2025年のサービス水準等の推計	152
6 介護保険事業の円滑・適正な推進	154

第2章 高齢者保健福祉施策

1 生涯現役社会づくりの推進	160
2 生活支援関連事業の推進	178
3 地域における支援体制の充実	189

第3章 計画の推進にあたって

1 計画の推進	198
2 計画の点検・検証	200

参考資料

光市高齢者保健福祉計画等策定市民協議会開催状況等	202
光市高齢者保健福祉計画等策定市民協議会設置要綱	203
光市高齢者保健福祉計画等策定市民協議会委員名簿	205